

4-2 1971年1月5日の渥美半島沖の地震前後の伊勢における地震回数

東京大学地震研究所和歌山微小地震観測所

1月5日06時09分頃渥美半島沖に $M = 6.3$ (JMA)の地震が発生した。第1図は震央にもっとも近い当観測所の伊勢観測点におけるこの地震の前後の日別地震回数(記録上全振巾2mm以上, $S - P4.5^0 \sim 5.9$)である。この地震の余震の伊勢における $S - P$ はほとんど $4.5^8 \sim 5.5^5$ の間に分布しており、特に 5.2 前後に集中している。伊勢では平常から $S - P5^5$ 付近に分布の1つの山があるので12月中の地震が前震とみなせるかどうかはわからない。しかし本震の1日前から発生した4日05時33分, 12時34分, 13時44分, 13時54分, 5日01時01分, 02時29分の地震は、本震, 余震とは少し離れた場所に起った疑いがあるが前震的な活動とみられる。

第1図 伊勢観測点における日別地震回数
(全振巾2mm以上, $S - P4.5^5 \sim 5.9$)

